

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム **NIFREL**

《ニフレル2周年記念》

テッポウウオのアーティスティックな大水槽が11月16日(木)オープン!

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、1階「わぎにふれる」ゾーンの一部をリニューアルし、テッポウウオ約80匹の「わぎ」を間近でご覧いただく、アーティスティックなデザインの大水槽(4.8m×4.8m×1m)を、2017年11月16日(木)にオープンいたします。



フタがなく、時にはテッポウウオに水を吹きかけられることも!

テッポウウオは東南アジアのマングローブ域に広く分布する魚で、成長すると全長30cmに達します。口から水を水鉄砲のように発射し、水面上の葉に止まった昆虫などを撃ち落として食べる行動がよく知られており、ニフレルでも2015年11月の開業時から「わぎにふれる」ゾーンの80cm×60cm×45cmの小型水槽で、合計6匹を飼育展示してきました。

今回オープンする大水槽では、テッポウウオが生息するマングローブを、正方形のプレート合計30枚吊り下げた、ニフレルならではのアーティスティックなデザインで表現。プレート上のエサをテッポウウオが正確に打ち落として食べる様子を、これまでにない距離感でご覧頂きます。



テッポウウオ
英名: Archerfish
全長: 約15cm
展示数: 約80匹

お問い合わせ: NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10：00～20：00 最終入館は19：00
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	7つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、スーベニアショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生1,900円、小・中学生1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY 全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

※ 公式ホームページ	http://www.nifrel.jp
※ ツイッター	http://twitter.com/nifrel_official
※ Facebook	http://www.facebook.com/nifrel.jp
※ インスタグラム	http://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL